

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	耳鼻咽喉科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	後期	教室名	406教室
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
耳鼻咽喉科学、気管・食道科学について構造と機能、疾患を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書①】「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」 医学書院 【教科書②】「イラスト耳鼻咽喉科学」 文光堂						
《授業外における学習方法》						
教科書、資料を読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な取り組みを望む。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳鼻咽喉科学の解剖と生理、鼻・副鼻腔の構造・機能・疾患について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	耳鼻咽喉科学の解剖と生理、鼻・副鼻腔の構造・機能・疾患			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔・咽頭・食道の構造・機能・疾患、睡眠時無呼吸症候群、嚥下の仕組みとリハビリテーションについて理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	口腔・咽頭・食道の構造・機能・疾患、睡眠時無呼吸症候群、嚥下の仕組みとリハビリテーション			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔面神経・唾液腺・味覚の構造・機能・疾患、耳鼻咽喉科の救急疾患について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	顔面神経・唾液腺・味覚の構造・機能・疾患、耳鼻咽喉科の救急疾患			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺・頸部腫瘍、気管・気管支の構造・機能・疾患について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	甲状腺・頸部腫瘍、気管・気管支の構造・機能・疾患			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査、新生児スクリーニング検査について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	小児耳鼻咽喉科(1) —新生児聴覚スクリーニングを中心に—			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査、新生児スクリーニング検査について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児耳鼻咽喉科(2) —新生児聴覚スクリーニングを中心に—		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	喉頭の構造・機能・疾患、音声外科について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	喉頭の構造・機能・疾患、音声外科		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭頸部癌の手術療法と機能再建について理解でき、説明できる。	教科書① 教科書②	教科書、資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	頭頸部癌の手術療法と機能再建		